

## 1.10 生産者にこそ樹形図を活用してほしい

冒頭にも書きましたが、この樹形図を最も利用して頂きたいのは、とりもなおさず生産者の皆様です。自己の牧場で保有する繁殖牝馬をこの樹形図に加筆した場合に、その周辺にはどのようなG I馬がどれくらいいるかが、その繁殖牝馬の価値を測る指標のひとつになるのではないかと考えているのです。

セリにおいても、単なる文字の羅列たるブラックタイプの資料をパッと見ただけで、その近親の繁栄具合を立体的に思い描けるでしょうか？

本書の樹形図は、網羅対象を敢えて2001年以降生まれのG I馬に特化したからこそ浮き上がって見えてくるものがあり、手前味噌ながらも世界的にも唯一無二の資料だと自負しております。

## 1.11 ディープインパクト産駒のG I馬の母系

長い間、日本のリーディングサイヤーとして不動の地位を築いたディープインパクト。晩年の種付料は4000万円まで高騰し、その血はいまでも世界の注目の的。しかし、叩き上げで登りつめた名種牝馬とは違い、当初から超一流の繁殖牝馬をあてがったうえでのリーディングの座ですから、この馬の種牝馬としての実力はどうかと私はいまでもかなり懐疑的です。

ディープインパクト産駒のG I（Jpn Iを除く）を勝った馬は2020年末現在47頭いるのですが、これらの近親にはどれだけのG I馬がいるのかを以下の図表1のとおり調べてみました。なお、近親が勝ったG Iは国際格付前のものも含まれます。

(図表1)

		母	祖母	きょうだい	おじおば おいめい	いとこ
2008年生	ダノンシャーク					
	トーセンラー			〇〇		
	マルセリーナ	〇				
	リアルインパクト			〇	〇	
2009年生	ヴィルシーナ			〇〇		
	ジェンティルドンナ	〇				〇
	ジョワードヴィーヴル	〇		〇		
	スピルバーグ			〇〇		
	ディープブリランテ					
	Beauty Parlour				〇	〇
2010年生	アユサン		〇			
	キズナ		〇	〇		〇〇
	ラキシス			〇		〇
2011年生	エイシンヒカリ				〇	
	サトノアラジン			〇		〇
	ショウナンパンドラ					
	トーセンスターダム				〇	
	ハープスター		〇		〇〇	
	マリアライト			〇		
	ミッキーアイル					〇